

【重点分野－3】
STOP！雇用不安～辞めるしかない!?と悩んでいませんか～
連合本部 LINE 労働相談集計結果報告

連合本部では2月13～14日限定で「STOP！雇用不安～辞めるしかない!?と悩んでいませんか～」をテーマに、無料通信アプリ「LINE」による労働相談を実施した。

この取り組みは、相談者の問題解決に向けた対応とあわせ、労働相談を通じて組合結成や処遇改善の取り組み等の対応を行うとともに、寄せられた相談をもとに政策・制度への反映をはかることを目的とし、2018年11月から定期的の実施している。なお、同時期（2月13～14日）に実施した「連合全国一斉集中労働相談ホットライン」の全地方連合会の集計結果については、別途報告を行う。

I. 日 時：2020年2月13日（木）～14日（金） 10～15時（両日）

II. 場 所：連合本部6階 フェアワーク推進センター

III. 相談対応

1. 対応相談員：7名（連合本部スタッフ5名、中央アドバイザー2名）
2. 相談体制：無料通信アプリ「LINE」（期間限定）

IV. 相談件数：109件（1日目：52件、2日目：57件）

V. 相談概況：

<事前のPRについて>

無料通信アプリ「LINE」による労働相談の実施にあたり、連合ホームページ、Facebook、Twitter や、リスティング広告、全国一斉労働相談のチラシ器材など、各種広報媒体を活用し、事前にLINE@へお友だち登録を呼びかけた。

<属性>

年代別では、30代～40代の相談者が約7割、性別では女性が75%強、雇用形態別では正社員が55%強を占めた。

<主な内容>

今回、雇用不安をテーマに実施したが、寄せられた相談は、パワハラを含む「差別等」が約30%と最も多かった。退職を強要するためのパワハラの場合も散見された。次いで、長時間労働を含む「労働時間関係」が約21%、「賃金関係」が約15%、「労働契約関係」が約9%と続いた。主な相談内容は別紙のとおり。

以 上

■□■□■ 寄せられた主な相談内容 ■□■□■

■雇用関係

- 育休から復帰する際、以前の労働条件ではなく違う条件の労働条件を提示されて、困っている。(30代女性、パート、教育・学習支援業、栃木県)

■差別等

- 介護施設に勤務。主任や副主任から、理不尽な指示や長時間の説教などパワハラを受けている。施設長に相談しても改善しない。退職したい気持ちもあるが、引き止められる。(女性、正社員、医療・福祉関係)
- 年下上司から仕事の監視や叱責、「バカにしてる腹が立つ」などいろいろな言われて、精神的に追い詰められている。1年前から心療内科に通院している。年齢的に会社を辞めることもできない。(40代男性、正社員)

■労働時間関係

- 有給を使ったことはなく、11日残っていたはずだが、1月に入って残日数がゼロになっていた。本来休日の土日に有給が充てられていた。忙しいという理由で、労使協議会が開かれない。(20代女性、正社員、その他の業種、東京都)
- 運転手をしている。仕事のミスで罰金を請求される、長時間労働で1週間帰れないこともある、経営者からパワハラを受けている。自宅のアパートの壁を壊したりして苛立ちを何とか抑えている。子どもにも手を出さないか自分自身が心配だ。(30代男性、正社員、運輸業、秋田県)

■賃金関係、その他

- シフト業務の中、社長が労働時間を徐々に削り、賃金を減らした挙句、社会保険をはずすと一方的に言ってきた。(女性、パート、サービス業、大阪府)
- 仕事が原因の腰痛で休んだ後、復帰したら、以前の部署に戻ることは出来ず、以前より腰に負担のかかる仕事を命じられた。労災は認められなかった。(男性、正社員、運輸業)

以上